

令和6年度 第3回南丹市社会教育委員会会議 議事録

日 時 : 令和7年3月13日(木) 午後2時～午後4時

場 所 : 南丹市園部文化会館 3階 大研修室

出席者 (順不同・敬称略)

社会教育委員 小南仁、清水範子、北村友子、片山智文、岡島賢峰、古北真里、小泉顕雄、
今井恵一、矢野茂世

(欠席者) 安藤眞吾、前野正博、芦刈毅

市教育委員会 野々口教育次長、川勝社会教育課長、井尻課長補佐、奈木野社会教育係長、
上原図書館係長、橋本主事

傍聴人 0人

1 開 会 (司会・進行) 井尻課長補佐

2 あいさつ 小南代表

3 協議事項 「社会教育施設の運営に係る現状と課題について」

事務局：前回の会議の方でもお話させていただいたが、南丹市は基金を取り崩して、予算の収支の均衡を図る厳しい財政状況が続いている。令和5年10月に南丹市財政健全化プランを策定し、令和6年度から令和9年度までの4年間の期間として、取り組みを進めている。本日の会議では社会教育施設を運営管理する、所管課として、この取り組みを進めるにあたっての現状と課題を報告させていただき、委員の皆様から忌憚ないご意見等を賜りたい。

まず、生涯学習施設として、園部文化会館、八木市民センター、日吉生涯学習センター、美山文化ホールの4館を維持管理している。

図書館は、園部の中央図書館と、八木、日吉、美山に図書室を開設している。

その他に、文化博物館と日吉町郷土資料館のほうも所管している。

南丹市財政健全化プランでは、南丹市が所管している公共施設の見直しを記しているが、短期的にすぐ見直しが必要な施設、19施設の中に美山文化ホールのホール部分と、日吉生涯学習センターがある。美山文化ホールのホール棟の部分を休止し、会議室等に関しては引き続き使用していく。また日吉生涯学習センターは、今年度より2ヵ年にわたって、大きな大規模改修工事を行っているが、1階部分に日吉支所の機能が近い将来、移転するという事になっている。

また、長期的に見直しを取りかかる26施設の中には日吉町郷土資料館が含まれている。

歳出の見直しの中に、人件費の削減、会計年度任用職員の見直しが上がっており、任用時間数に条件を設ける事になっている。週5日勤務、週に37.5時間勤務が次年度の4月以降は上限が35時間以内に定められている。また、人件費については、単価が年々増加し

削減も求められている。予算の配当も増額が望めないことから、人員の配置を削るか、または勤務日や勤務時間数を減らすなどの方法を取らざるをえない状況となっている。

また、市役所と支所で窓口の開設時間を6月から短縮する方針を決めており、来庁者の少ない時間帯を閉庁し、働き方改革や打ち合わせ時間の確保をすることになっている。

社会教育課では、特に外の所管施設において多くの会計年度任用職員を雇用し、運営をしており、現状の開館規模を維持したままでは、勤務シフトを組んでいくのが大変厳しい状況となっている。

歳入の確保の方については、使用料や手数料の見直しが求められている。生涯学習施設における使用料や文化博物館、郷土資料館の入館料などが主な収入源である。

使用料や入館料を決定したときから、維持管理するための光熱水費や委託料なども以前と比べて高騰しており、毎年運営費は上昇しているが、収入は比例して増えているとは言えない状態である。また減免の制度のほうも他の自治体と比較するなどして、適正な基準を改めて検討し設置できたらと考えている。

今後は、開館時間の変更や休館日の見直しも視野に入れて検討を始めるとともに、施設使用料や入館の手数料の適正化、減免の取り扱いについても再考していきたい。

委員：基本的に職員の勤務時間が短くなる分、開館時間を短縮するが、それほど大きな変化にはならないように提案いただいているということか。

事務局：来年度は早出・遅出の工夫をしながら施設の運営をすることはできるが、図書館の運営が特に厳しい。その次の段階として職員を減らしたりするようなことも考えられる。時間を短くしたり、新たに休館日を設けないと、運営が難しい施設が出てくると想定している。

委員：美山文化ホール、日吉生涯学習センター、郷土資料館の3施設を取り上げて説明されたが、園部文化会館や八木市民センターなどはあまり変わらないのか。

事務局：施設の方向性は変更ない。ただ、人件費削減は市役所全体に関わってくるので、今後のシフト作成に影響がある。また、ホールがある施設については、ホールの利用があれば、ホール設備の操作対応で別途人員が必要になる。

委員：美山文化ホールは、もう最終的にはホールは使用しない方向に動いているのか。

事務局：その通り。

委員：美山文化ホールは常勤職員がいるということか。

事務局：社会教育課美山担当として、会計年度任用職員1人を配置し、会議室等の予約や鍵の貸出しを行っている。また、体育施設の管理がスポーツ推進課に移行したため、美山・八木・

日吉担当の職員は体育施設の管理も併任事例で行っている。

委員：ホールは使わないが、会議室や他施設の管理があるため人が必要ということか。

事務局：その通り。施設管理以外に文化協会の事務局、支所業務の補助なども行っている。

委員：市としては、いくらぐらい削減しようとしているのか。

事務局：金額としては、掲げていない状況だが、賃金については、人事院勧告や地域手当など増額の要素があり、更に人員や時間の削減が必要となる。

委員：園部文化会館の中に、ライオンズクラブや商工会などへ事務所を貸出しているがもっと増やして、賃料を増やしていけないのか。

事務局：商工会やライオンズクラブの他に、ふない聴覚言語障害センターと社会福祉協議会園部事務所が入居している。社会福祉協議会は福祉関係ということもあり、光熱水費の実費相当分のみで、賃料は免除している。通常の施設使用料についても免除団体があるので、減免制度の見直しも検討する必要があると考えている。

委員：それぞれ施設が生涯学習の拠点として機能している。財政難で人件費を削るということも理解できるが、施設の利用料等を上げて対応することはできないか。

事務局：使用料自体の見直しも考える必要がある。

委員：文化博物館はいろんな事業をしているが、広報ができていないように感じる。道路に近いことから大きな看板をあげたらどうか。

事務局：広報の件については、よく指摘を受けており、SNSも活用し、PRを続けている。

委員：行政サービスがよくなる方法があればいいのだが。南丹市はいい町ですよ、どうぞ南丹市に住んでくださいとかPRしても、施設の開館時間が短いのはどうか。

委員：生涯学習のサービスが低いとなると考えてしまう面もある。

委員：京丹波町の役場が新築され、中に図書館がある。図書館に行く目的ではなかったが、併設している喫茶店スペースがあり、お茶を飲みながら本をゆっくりと読めるっていう環境がよかった。これも1つの案かなと思う。

委員：前回、文化博物館を案内してもらって、本当にゆっくりさせていただいた。
後はお茶を飲みながらゆっくりできる場所があるとよい。

事務局：八木図書室が支所の方に移転し、隣接するギャラリーでお茶が飲みながら読書できて好評と聞いている。

委員：先程、博物館は、企画展のときは来館者が多いと話があった。ただ、収入の収支の関係を考えた時、南丹市の力だけでは、難しい面がある。例えば今年万博が開催されてインバウンドの需要がある。南丹市の方に流れてくるかもしれない。お城の形をしたような建物もたくさんあるので、海外向けのPRの仕方であったり、レンタサイクル等を活用するなどのプランを組むのも面白いのではないかと。また、湖池屋など特徴的な企業とのコラボした企画展をやってみるなど、初めて博物館に入る人のハードルが低くすることも大切。

委員：美山でも観光客が多いので、園部だったらもっと来やすい。電車で一本で来れる。

委員：南丹市には神社仏閣も多く、景観的にも外国人にも魅力的な場所である。今の時代に、もう一度、古いものを振り返ってみることもよいのではないかと。

委員：交通の件だが、京都市内だと、市バスが観光用のバスを運行している。南丹市には、ぐるりんバスがあるが、もう少し観光だけのバスを走らせることはできないか。駅から歩くと少し遠い気がする。
また、博物館の料金は安いと思うが、市民は割安にならないか。市民には一定の還元があってもよいのでは。

委員：何もかも上げるのではなく、市民を安く、インバウンドを高くするなどの価格の差をつけるのは賛成である。一定は上げるが、市民は据え置くとした方が、効果が出ると感じる。

委員：来年度開催の全国都市緑化フェアに向けて、園部公園周辺が整備されると聞くが、事業を活性化するためタイアップ事業など開催すればよいのではないかと。また、既存施設を活用して、で喫茶スペースなど設けても良いと思う。

事務局：緑化フェアの事務局からも、協力して欲しいという依頼が来ている。連携企画ができるように考えていく。

委員：園部公園にプールがあるが利用されないのであれば、埋め立てて平らにしたらどうか。

委員：あれは当初、防火が目的で設置されたものではなかったか。

事務局：その通り。防火水槽として設置されたものである。

委員：10 数年前から施設の利用等は受益者負担と言われていた。施設の利用についても統一されていなかったのが今回が良い機会になると思う。昨年、美山文化ホールの中を見学し、施設の状態が悪くなっているのを感じた。修繕には公費負担が大きいと思うが、市としてはどのように考えているか。

事務局：美山文化ホールのホール棟は冷暖房も使えない状態だが、それを承知のうえで利用を希望される場合は貸出ている。代替施設としては、美山の小学校の体育館を候補としている。ただ、ホール機能をどれだけ付加できるか、利用時期等はこの先、検討することになる。

委員：財政健全化は評価できるが、合併後 20 年経過するなかで当然施設も老朽化してくる。今回の日吉生涯学習センターに支所機能を移転するというのも一つの形になる。美山文化ホールも田の上に建てたことから建物が傾いていると聞く、隣接する美山支所も 20・30 年先には傾いてくるのではないか。調査ができればよいと思う。

委員：合併後の社会教育施設を含めて、従来のものすべてを維持していくことは難しい。今回の見直しで、地域の住民が必要としているものをどう残していくかという議論をしっかりとっていただきたい。適正な施設配置や交通網の整備など、市の大きなプランが必要である。その上で、社会教育施設についても議論ができるのではないか。また、市の予算、どれぐらいあり、社会教育でどの程度必要かも提示していただくとありがたい。

事務局：次回、施設運営費や人件費などについて、具体的なものを提示させていただく。また、今後の進め方についてももう少し詳細に相談させていただく。

委員：合併特例事業債は今年で終わりか。

事務局：令和 7 年度で終了となる。

委員：どれだけ削減すれば、市政が回るのかということも示してもらったらありがたい。

委員：今更になるが、合併の際、社会教育施設に対する計画があり、それに向かって進むことができればよかったのではないか。いまだに旧 4 町の意識が強いと感じる。

委員：当時の南丹市総合計画があった。その中の社会教育の位置付けが、どういうふうになっているのか確認し、見直すのもよい。

事務局：合併して20年が経とうとしているが、旧町意識があるのは確かである。ただ、これからは南丹市、オール南丹の意識でやっていかなければならない。政策については、皆さまのご意見を伺いながら、決めていければならないと思っている。

委員：あまりお金がかからない方法として、南丹市の文化観光大使の方に市内をカメラをまわしながら歩いていただくというのはどうか。そうした映像が増えていくと広がりが出てくるのではないか。

事務局：多くの方が様々な視点で発信を行われている。委員の言われる通り、それを見て、海外の方や市外の方が南丹市に来ていただける取組に繋がればよいと考えている。

委員：挑戦的にやってもいいかもしれない。ただ計画的に行わないといけない。地道にやるのは結構難しい。

委員：近所に映画やドラマで撮影に来られることがある。こうした点を活かして、市のPRを兼ねて、真剣に考えるべき。これだけの建物や神社仏閣があったり、風景があったりするわけなので。

委員：KCNなんたんも活用して市のPRをおこなってはどうか。

委員：映画の話に戻るが、窓口はどこの課になるのか。去年2件ぐらい美山にも大きな映画撮影があった。こうした際に連携ができればよいのではないか。どうしても縦割りで繋がりが見えてこないのが、今の南丹市の課題である。

事務局：窓口としては商工観光課になる。

委員：南丹市内の風景や施設、文化財などで撮影に使ってもよいものが情報提供できれば、依頼が来たときにすぐに対応できるのではないか。

委員：連携をしておくのは大事だと思う。どうしても窓口は観光協会や商工観光課になると思う。社会教育課には情報が届かないのではないか。情報を出せないと他所にいつてしまう。待ってるばかりではなく、こちらから先に動くことも必要。

委員：話は施設管理運営から広がり、南丹市に人を呼ぶアイデアまでを出していただいた。社会教育課だけで難しく、他の部署とどう連携するかなどのご意見もいただいたので参考にさせていただければと思う。

また、今回、現状と課題について説明いただいたが、1回で終わる話ではないし、市としてもこれからいろんな動きが出てくると思う。またその際にご意見をいただければと思う。

4 報告事項 (1) 図書館・室の運営の現状について

事務局：まず、八木図書館について、南丹市財政健全化プランの取り組みの一環として、八木支所内に急遽集約をすることになったもので、八木図書館は以前、八木支所の総務課があった場所に移転した。開架書籍は2万8000余りで、書庫にも2万1000余りの本を保管している。利用者は、支所に来られた方も寄っていただき、前よりも増えている。

次に日吉臨時図書館について、日吉生涯学習センターが大規模改修に伴い、工事期間中日吉支所に臨時図書館を開設したものである。11月5日に生涯学習センターが休館をしたと同時に日吉図書館の方は休止し、11月13日から臨時図書館を毎週水曜日と金曜、毎月第3日曜日に10時から16時まで開館している。小さな部屋のため、利用頻度の高い本を中心に開架しており、見やすくなったという声もいただいている。

小さい子のおはなし会については、日吉図書館と美山図書館への参加が少なくなっている。本に親しむ取組として、試験的にみやまこども園で年長児向けに出張お話を開催したところ好評だったため、図書館での小さい子のお話会については今年度で終了し、園に出向く講座へ切替をしていきたいと考えている。

最後に、雑誌スポンサーは、昨年度から始めているが、今、企業・個人合わせて14誌をいただいております、今後についてもPRをしていきたいと思っています。

委員：今の子どもたちは、スマホやゲームなどに時間を費やし、本を読む機会が少なくなっている。これが学力の低下にもつながっている。南丹市全域で読書に力を入れ、読書活動推進プランを立て、各校での読書活動を推進いただいている。こうした中、各地域の図書館・室の役割は大きい。コロナ禍の期間、子どもたちの読書時間は明らかに少なくなっていると感じる。

委員：美山でも同じような話が出ている。保護者や児童のアンケートから見ても、読書時間は年々少なくなっているイメージがある。これは保護者がスマホ等に依存し読書をしない環境が子どもたちにも連動しているのではないかと。

また、美山町内の福祉施設の方を対象に本を貸し出す事業があった。大変好評であったと聞いているので、こうした取組もまた開催してほしい。学校と連携して、学校にも地域の方が借りられる本のスペースをつくってもらうのもよいのではないかと。今までと同じことをしていると、どんどん本を読まなくなってくる。

委員：大きな企業と連携をして、昼休みなどに本を貸し出しするのはどうか。月に1回でも実践できないかと。

委員：近くの市役所であれば取組みやすそう。

委員：移動図書館みたいなものか。

委員：移動図書館で月に1回、会社の食堂などで貸し出しの図書館、移動の図書館を開設する。
職員が大変かもしれないが、本を読んでもらう人数を増やす取り組みになるのでは。

事務局：市役所には食堂など休憩スペースがないので、そうした取組も効果があるかもしれない。
何かできることを見つけて、やっていければと思う。

委員：図書館・室を利用する方を増やすということで考えて欲しい。

委員：京丹波町は移動図書室用の車が駐車場に停まってるが、南丹市はないのか。

委員：以前は、美山で実施していた。遠く離れた集落に回ってきてくれたので、お年寄りで車を
持っていない方などが借りにきていた。

委員：来たら行くが、逆に経費がかかる可能性がある。結局人件費の問題になる。

委員：今ある図書館（室）を利用して、いかに来館者を増やしていくかという工夫をしていかな
ければならない。

委員：八木図書室は支所から近くになったので、ある意味よい作用が生まれそう。

委員：美山も同じ建物内にあるが、少し場所が離れているため利用しづらい。支所のスペースに
あったら、ついでに利用される方も多いのではないか。職員さんも少なくなったのでコン
パクトに使用できる可能性もある。光熱費も削減になる。

委員：行政窓口は行ったことのない者からしたら行きにくいイメージがある。オープンスペース
になってると、行政窓口にも相談に行きやすくなる。住民と行政の窓口を近くするという
意味でも、図書室など市民が行きやすい場所と近づけるっていうのは、手法としてはよい
のではないか。八木の支所を参考にすると見えてくるものがある。

事務局：さまざまな意見が出たので、今後検討させていただく。

4 報告事項 (2) 市指定文化財の新規指定について

事務局：南丹市文化財保護審議会で審議を行うことになっている。現在、諮問の段階に入っており、園部城関連の歴史資料と園部町で行われている無形民俗文化財、合計 9 件の指定を進めている。

委員：文化財指定は、どれぐらいの期間が必要になるのか。

事務局：今回の案件は、令和 4 年の第 2 回目から審議を始めて、令和 5・6 年度で審議をして、令和 7 年 4 月に指定という流れになっている。

5 その他 (1) 各種委員の選出について (2) 今後の事業について

・次第に基づき、事務局が説明

6 閉会挨拶 清水副代表

終了後、文化博物館で開催中の冬季企画展「文字文左衛門展」を見学